

森林整備や高齢者支援のための「ふるさと発電所」が稼働



既存の砂防堰（芳井堰）



取水部取水口



発電所



発電所・放水口

＜概要＞

- 事業実施主体：NPO法人いきいきみはら会
（高知県幡多郡三原村）
- 発電設備：小水力発電（愛称：創電 希望の里）
最大発電出力 110kW、有効落差約 9 m
発電電力量 65万kWh/年（年間約200世帯分相当）
- 建設費：約1.9億円
- 運転開始時期：令和元年10月



下ノ加江川流域

＜特徴＞

- 同会は平成14年に地域の森林整備や高齢者支援等を目的に発足。
- 地域の豊かな水資源及び砂防堰（芳井堰）を有効活用し環境に軽負荷な小水力発電事業を計画し事業費の確保を提案。
- 農山漁村活性化再生可能エネルギー総合推進事業（3カ年）の活用。
- 売電収益の一部を森林整備事業（CO2削減）等に充当し、地域の農林業（環境保全型林業）等の振興を図り、さらに地域の雇用の創出を図る。
- 民間運営による小水力発電事業は珍しく、全国の先行モデルとして情報発信。
- 今後は、村内に木質バイオマス発電事業の構想もあり、両事業の売電収入の一部を活用して「地域で支え合い、共に心豊かに暮らせる地域社会づくり」を目指す。